

見て！ 食べて！ 体験しよう！

組合まつり in TOKYO 2019 ~技と味の祭典~

令和元年12月18日(水)・19日(木)、東京国際フォーラム(東京都千代田区)にて、「組合まつり in TOKYO 2019 ~技と味の祭典~」(東京都中小企業団体中央会 主催)が開催されました。

本展示会は、中小企業世界発信プロジェクト2020の一環としたイベントで、東京都をはじめ全国の中小企業組合が一体となって団体のPRや商品の展示販売並びにサービスの提供等を通じて新たなビジネスチャンスを創出することを目的に開催されています。

当日は、小池百合子東京都知事をはじめ、本会会長でもある全国中小企業団体中央会 森 洋 会長らを来賓に迎えたオープニングセレモニーが開催されました。セレモニーでは、主催者を代表して東京都中小企業団体中央会 大村 功作 会長の挨拶があり、出席した来賓からも祝辞が述べられ、テープカットとともに盛大に幕を開けました。



主催者挨拶をする東京都中央会 大村会長



テープカットの様子

今年度も好評につき、およそ120団体が出展!!

3回目の開催となる今年度は主催の東京都を中心に全国各地から123団体が集まり、モビリティ・ものづくり・くらし・アミューズメント・伝統工芸品・食品・全国物産・伊豆七島・経済の全9つのカテゴリーに分かれて、それぞれ出展をしました。

昨年度同様、会場にPRステージも設けられ、両日ともに1日をかけて、全国20の団体が工夫を凝らしながら、自団体の取り組み紹介を行い、来場者へPRする様子が見られました。また、当日は10,000名を超える多くの来場者が足を運び、全国各地の職人の技や伝統、地域産品に触れ、



大勢の来場者で賑わう会場

驚きや感動、様々な姿を見せながら、出展者と活発に交流を図っていました。

神奈川県からの出展組合紹介

今年は県内より2組合が出展しました。

ドブ板通り商店街振興組合

代表者名	代表理事 越川昌光
所在地	横須賀市本町二丁目7番地
連絡先	TEL: 046-824-4917 FAX: 046-824-4917
URL	https://dobuita-st.com/
組合員数	88名

当組合は「ドブ板通り」と呼ばれる、京急汐入駅から米海軍基地一帯の通りに面したミリタリーショップや外人バー等、日本と米国の雰囲気が融合した独特な街並みが特徴的な商店街で、県内外から多くの観光客が訪れています。組合では、アンテナショップ「ドブイタステーション」を主軸とした、オリジナル商品の販売、商店街施設整備、イベント開催等、様々な事業を実施しています。

初出展となる今回は、PB商品「DOBUITA ミリメシ」の販売、スカジャンの試着体験、人気観光スポット「YOKOSUKA 軍港めぐり」の紹介等を行いました。

「DOBUITA ミリメシ」の「ミリ」は「military」の略で、「メシ」は読んで字のごとく、飯を意味します。中身は厳選された国産牛と野菜、調味料を使用したコクのあるカレーが入っており、携帯性や保存性に優れることを理由に、自衛隊や軍隊等で支給されていた戦闘食糧「I型缶詰」をモデルに基地の町、ドブ板らしい迷彩柄がパッケージングされている商品です。当商品の売れ行きは好調でしたが、スカジャンの試着も好評で、試着体験した来場者からは、「暖かくて、機能性が高い!」との声が聞かれ、記念撮影も行われていました。さらに、米海軍と海上自衛隊の艦船を間近で堪能できる、観光クルーズ「YOKOSUKA 軍港めぐり」のパネルはブース内でも一際目立っており、多くの来場者がブースに足を止め、出展者とコミュニケーションを図っていました。

令和2年3月末まで、スカジャンを着て当商店街でお買い物や食事をする割引になる「スカジャン割引キャンペーン」も実施していますので、これを機にスカジャンを着て、商店街を訪問してみたいはいかがでしょうか。



「DOBUITA ミリメシ」



スカジャンを着て記念撮影する来場者

神奈川県家具協同組合

代表者名	代表理事 神谷光信
所在地	横浜市中区伊勢佐木町七丁目 155 番地 7
連絡先	TEL: 045-242-5981 FAX: 045-242-5984
URL	https://www.kanagawa-kagu.com
組合員数	32名(神奈川県家具工業組合と統合後)

当組合は、国内の洋家具発祥の地である横濱の木工家具製造業者と関連業者で構成されている団体で、組織強化のため本年度、神奈川県家具工業組合を統合することとなっています。組合では、組合員の技術向上と若手経営者の育成に力を注いでおり、特に組合員の若手経営者勉強会・親睦会である「かなもく塾」が活発に行われています。「かなもく塾」は、毎月開催されており、会員企業の工場見学を数多く行う等、将来のビジネスへとつながる要素を日々追及している他、組合のベテランと次代を担う若手の交流の場としても機能しています。

昨年に続き3回目となる今回の出展では、ホワイトオークの無垢材を使い、美しいロールトップ(巻き込み戸)を開けると、自動的に引き出しがロックされるカラクリ機能が付いた遊び心溢れる「ロールトップデスク」やホワイトアッシュの白とビロードの赤を基調とした横濱のジャックの塔の外観をイメージした「ロッキングチェア」を展示しました。また、家具手加工、家具塗装、いす張りの一級技能士たちが共同制作した、新商品「ドクターチェア」も初お披露目となりました。「ドクターチェア」は牛革と250本の単鋸を丁寧に打ち込んだ美しいデザインで、馬毛とスプリングを使用した座面は座り心地が抜群で、一級技能士製作のグッドスキルマークに値する、横濱家具の真骨頂と言われています。

組合ホームページにも商品詳細が掲載されておりますので、是非一度、確認してみたいはいかがでしょうか。今後も「かなもく塾」を中心とした当組合の取り組みには期待が高まるばかりです。



「ロールトップデスク」と新商品の「ドクターチェア」



「ドクターチェア」を共同制作した一級技能士たち